

(別紙様式)

教科用図書調査に関する報告書

教科	特別の教科 道徳
----	----------

発行者 略 称	教科書名	選定委員会から付された意見
東 書	新編 新しい道徳 1 新編 新しい道徳 2 新編 新しい道徳 3	・定番の教材がバランスよく掲載されている。また、アンケートやテーマの設定も適切である。 ・「つぶやき」を書くという設定が良く、グループや学級での話し合いや振り返りの活動に適している。 ・「いじめにあたるのはどれだろう」(P22, 23)は、見開きで記載されており、生徒同士で様々な意見を交流できる内容構成となっている。 ・付録の心情円があることで、自分の気持ちを見える化し、学ぶ前と学んだ後での変化を比較できるのが良い。 ・生徒が知っている人物を取り上げた題材が掲載されており、興味を持ちやすい。 ・「SNS に関すること」や「いじめ教材」において見て見ぬふりをするなど、傍観者の視点で記載されており、多面的・多角的に考えられるような工夫がなされている。 ・兵庫県にまつわる教材が、阪神淡路大震災や阪急電車の事故、「女子も野球を」の神戸弘陵高校女子野球部等、複数取り上げられており、生徒の興味をひきやすい。 ・いじめに関する教材がやや少ない。 ・各教材名の前に目標とする道徳的価値があらかじめ記載されているところが、生徒による主体的な学びの幅を狭める可能性がある。 ※選定委員から採択にふさわしい教科書との意思表示があった。
教 出	中学道徳 1 とびだそう未来へ 中学道徳 2 とびだそう未来へ 中学道徳 3 とびだそう未来へ	・3年間を通して、SDGsに関連した内容項目が多い。 ・生徒に考えさせやすい教材が多く設定されている。 ・各学年巻末にまとめられた「道徳の学びを振り返ろう」では、1年間の振り返りができることが特徴的である。 ・「裏庭での出来事」の教材名の前に、「人の意見に流されたことはあるだろうか」など、道徳的価値に関する一文があらかじめ記載されているところが、やや気になる。記載がない方が、生徒が主体的に学びを深めやすい可能性がある。 ・シンプルな構成で、文章の最後に「学びの道しるべ」が示されており、生徒が思考を整理する手助けとなっている。一方、思考の広がりをやや狭くする可能性もある。 ・デジタルコンテンツが少ない。

光 村	中学道徳 1 きみが いちばん ひかるとき 中学道徳 2 きみが いちばん ひかるとき 中学道徳 3 きみが いちばん ひかるとき	・道徳のテーマを順番に考えていくことで、望まれる道徳的実践力が身につくと考えられる。 ・漫画の教材が多く、生徒に親しみやすいことが特徴的である。 ・3学年を通じて「いじめ」の題材を複数取り入れている。 ・「橋の上のおおかみ」や「泣いた赤鬼」など、小学生において学んだことを中学生においても再度考えることで、小中連携や自分の成長を考えるきっかけとなるところが良い。 ・内容の読み取りに時間がかかる難易度の高い教材がやや多く、苦手な生徒にとってはわかりにくい。 ・昔から慣れ親しまれた教材を取り上げているところが特徴的である。一方、目新しさに欠ける部分もある。 ・道徳的価値が順に取り上げられていることで、扱いやすい反面、生徒の思考の広がりをやや狭くする可能性がある。
日 文	中学道徳 あすを生きる 1 道徳ノート 中学道徳 あすを生きる 2 道徳ノート 中学道徳 あすを生きる 3 道徳ノート	・登場人物がイラストで教材名の下に表示されており、内容が理解しにくい生徒にとっても、読みやすくわかりやすい構成となっている。 ・デジタルコンテンツの中に用意された「道具箱」や「シンキングツール」等により、生徒の興味を引き出したり、話し合いに活用したりできるところが良い。 ・道徳のノートの扱いがやや難しい。一方で、教員が効果的に活用できれば、学びを記録したり、振り返ったりできる。 ・資料の説明をしている部分がわかりやすい。 ・読みやすく、考えさせやすい題材が多い。 ・1学年で5つ程度いじめに関する教材が掲載されており、生徒に繰り返し考えさせる機会がある。
学 研	新版 中学生の道徳 明日への扉 1 新版 中学生の道徳 明日への扉 2 新版 中学生の道徳 明日への扉 3	・生徒の興味をひく挿絵やイラスト、漫画などを活用しているところが良い。 ・メモ欄があり、生徒が学習の中での気づきをすぐに書き込めるところが良い。 ・字体が統一されていて、ユニバーサルデザインの観点で見ても非常に読みやすい表示がされている。 ・いじめや多様性、SDGs に関する内容項目が多く取り上げられており、現代的な諸課題に対応できているところが良い。 ・教材名の下に、物語の中で劇的に変化する場面が取り上げて描かれており、読みやすい。人物伝のような教材を読むときには、生徒の参考となり興味をひくこともあると考えられ、教材のポイントの示し方として新しい手法である。一方で、道徳的価値が事前に把握できることで、生徒の思考の広がりをやや狭くする可能性がある。 ※選定委員から採択にふさわしい教科書との意思表示があった。

あか図	中学生の道徳 1 中学生の道徳 2 中学生の道徳 3	・教材名の後に、道徳的価値観を記載せず、マークで表しており、生徒が主体的に考えを深めやすいところが良い。 ・挿絵に登場人物やイラストがあり、内容が理解しにくい生徒にとっても、読みやすくわかりやすい構成となっている。 ・「マイプラス」が1学年に3箇所あり、いじめに関しても、多様な意見が出やすいコーナーとして設定されているところが良い。 ・目次の「いろいろなテーマから学ぶ」では、何を考えるべきなのかを生徒が見通しをもって考えられる記載がされている。 ・UD デジタル教科書フォントが非常に読みやすく、ユニバーサルデザインの観点からも良い構成となっている。 ・「新型コロナウイルス感染症」や「生成 AI」など、現代的な諸課題に関する教材を取り上げている。一方、昔ながらの定番の題材がやや多い。 ・いじめに関しては15の教材が取り上げられており、人権課題に対応しているところが良い。 ※大半の選定委員から採択にふさわしい教科書との意思表示があった。
日科	道徳 中学校 1 生き方から学ぶ 道徳 中学校 2 生き方を見つめる 道徳 中学校 3 生き方を創造する	・誰もが知っている人物がバランスよく取り上げられているなど、生徒が興味を持ちやすい。 ・ウェルビーイングカードがあり、自分の立場や考え方を明確にして進める学習により対話を促すことができ、教員の活用の仕方によっては生徒の深い学びに繋がる。 ・シンプルに読みやすい紙面構成になっている。 ・巻末の「わたしたちの郷土」は、付録としては良いが、写真と短い説明文章があるのみで、何を学ぶべきか把握しづらい。 ・多様性を意識できるよう、表紙のイラストの制服がブレザーとなっている。一方、中身は昔ながらの題材が多く、目新しさがやや少ない。